

りそなグループのSustainabilityへの取り組み

金融サービスを通じた社会的課題の解決に向けて

りそなグループは、創造性に富んだ金融サービス企業を目指し、「お客さまの信頼に応える」、「変革に挑戦する」、「透明な経営に努める」、「地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、本業を通じて環境・社会課題を解決し、地域社会の持続的な発展に向けた取り組みを推進していきます。

2015年に国連でSDGsが採択され、サステナビリティに対する社会的要請や、当社グループに対する評価・期待が一層高まってきています。SDGs対応はビジネスに直結するものと認識し、環境・社会課題解決と持続的成長の両立に向けた取り組みを一層加速するため、「2030年SDGs達成に向けたコミットメント」を制定しました。コミットメントでは、りそなグループとして優先的に取り組むべき環境・社会課題を「地域」「少子高齢化」「環境」「人権」の4つのテーマに特定し、その取組方針を6つにまとめています。コミットメントに対する具体的な取り組みとして、今後グループ各社にてアクションプランを定め実践し、その状況を公表します。



「2030年SDGs達成に向けたコミットメント(Resona Sustainability Challenge 2030)」

りそなグループは、2030年のSDGs達成に向け、金融サービスを通じて、活力あふれる地域社会の実現に貢献していきます。私たちは、グループ一丸となって、このコミットメントに取り組むことによって、環境・社会課題解決と持続的成長の両立を目指します。

テーマ	SDGs	コミットメント
地域	地域経済の活性化 17の目標すべて	<ul style="list-style-type: none"> 1-1 環境・社会課題をテーマとした建設的な対話等により、お客さまとともに持続可能な社会の実現を目指します。 1-2 企業のスタートアップ支援や成長支援、社会インフラの効率運営のサポート等を通じて、地域経済の活性化、暮らしやすい街づくりに貢献します。 1-3 誰もがいつでもどこでも簡単に利用できる、先進的な金融サービスの提供を通じて、社会や暮らしの利便性向上に貢献します。
少子高齢化	少子高齢化に起因する将来不安の解消 	<ul style="list-style-type: none"> 2-1 金融コンサルティング、金融経済教育等の金融リテラシー向上の取り組みを通じて、将来に向けた資産の形成、承継をサポートし、生涯にわたる生活の質の向上に貢献します。
環境	地球温暖化・気候変動への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 3-1 再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指します。
人権	ダイバーシティ&インクルージョン 	<ul style="list-style-type: none"> 4-1 人権や多様性を尊重し、誰もが仕事も生活も充実させ自分らしく活躍できる社会づくりに貢献します。

地域

1-1 環境・社会課題をテーマとした建設的な対話の促進

投融資先との対話・エンゲージメントにSDGsの目線を取り入れ、投融資先と共にSDGs達成を目指していきます。SDGsの普及により予想される社会的なインパクトや、りそなグループの「融資業務における基本的な取組姿勢」をお伝えすることで、お取引先の経営課題解決に役立てていただいています。また、融資商品等を通じてお客様のSDGsへの対応やビジネスの発展を積極的にお手伝いしていきます。

① 全国版CSR私募債～ SDGs推進ファンド～	私募債発行額の0.1%をお客さまが指定したSDGs 関連団体へ寄付
② りそな/埼玉りそな SDGsコンサルファンド	CSR調達(※1)を軸としたSDGsに関する簡易コン サルティング(※2)つきの融資商品

※1 企業などが仕入先の選定や仕入条件を設定する際に、社会的責任の観点からCSR要素を加えた基準を設定すること。また、仕入先に社会的責任を果たすように要求すること。
※2 りそな総合研究所によるもの。



寄付の使用例: 全国100万人以上の中学生に配布されたSDGs副教材(事業者: (公財)日本ユニセフ協会)



1-2 地域経済の活性化、暮らしやすい街づくりへの貢献

ビジネスマッチングや海外進出のご支援、創業、事業再生・再構築のご支援等を通じ、企業の成長ステージに即した最適なソリューションを最適なタイミングでご提供します。また「りそなキャッシュレス・プラットフォーム」等、現金を使わずにモノやサービスの支払いが出来るキャッシュレスサービスをご提供し、社会インフラの効率運営のサポートをしています。



りそなキャッシュレス・プラットフォーム

1-3 先進的な金融サービスの提供

「りそなグループアプリ」の進化を通じた、お客さまに最適な商品・サービスをいつでもどこでも提供する「ネットチャネル」の強化と、年中無休店舗「セブンデイズプラザ」の出店拡大等を通じた「リアルチャネル」の強化により、お客さまへ多様な選択肢を提供しながら金融サービスの新たな価値を創造してまいります。

GOOD DESIGN



<ボランティア活動等を通じた地域活性化への貢献>

りそなグループでは、地元地域の行事・イベントへの参加等、地域の皆さまと協力し地域活性化に貢献しています。2018年度は、度重なる自然災害により被災された皆さまへの支援や復興に役立てていただくため、従業員による募金活動も行いました。



「さいたま国際マラソン」への協賛



大阪府への義援金・従業員募金寄贈の様子

少子高齢化

2-1 将来に向けた資産の形成・承継のサポート、金融リテラシー向上への貢献

幅広い世代の金融リテラシー向上に取り組むとともに、「商業銀行×信託銀行」の独自性を活かし、資産形成、承継等あらゆるニーズに魅力あふれる商品・サービスでお応えします。



小学生向け金融経済教育
「りそなキッズマネーアカデミー」



SDGsへの取り組みを企業価値向上やビジネス拡大のチャンスとして捉えている企業へ投資
日本中小型株式ファンド「ニホンミライ」

環境

3-1 低炭素・循環型社会の実現への貢献(地球温暖化・気候変動への対応)

環境に配慮した商品・サービスを開発・提供すること、環境への影響に配慮した考え方を踏まえて投融資を行うことで、お客さまをはじめとする社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

また、2018年10月には「気候関連財務情報開示タスクフォース」(TCFD)最終提言への賛同を表明しました。気候変動がビジネスに及ぼす「リスクと機会」を多面的に評価して事業戦略やリスク管理に適切に反映し、気候関連の財務情報の開示について適切に対応していきます。

ガバナンス

気候関連の「リスクと機会」の識別・評価・管理に関する重要事項は、りそなホールディングス社長を委員長とし、子会社である銀行の社長や経営管理部署、リスク管理部署、法人・個人の営業部門などの担当役員等をメンバーとする「グループSDGs推進委員会」にて一元的に管理しています。同委員会では取締役会での議論を踏まえ、気候関連の「リスクと機会」とそれに対する評価、リスクを低減し機会を伸ばすための方策・目標などについて様々な視点から議論を行い、結果をグループの経営戦略やリスク管理に反映しています。

リスクと機会

気候関連の「リスクと機会」は最大の資産である貸出金に最も大きな財務影響を及ぼす可能性が高いと考えられます。りそなグループは法人・個人のお客さまの気候変動の緩和と適応に向けた取り組みを、金融サービスの面から支えていくことを通じて、気候変動がもたらすリスクを低減し、機会を拡大することに努めていきます。

人権(ダイバーシティ&インクルージョン)

4-1 人権や多様性を尊重し、誰もが自分らしく活躍できる社会づくりに貢献

従業員一人ひとりが持てる力を最大限に発揮して活躍できるようダイバーシティマネジメントや働き方改革を推進しています。年1回全従業員を対象に行っている従業員意識調査や、経営直轄の諮問委員会である「りそなウーマンズカウンシル」からの提言など、多くの従業員の意見を参考に、近年では、2015年10月に勤務時間もしくは業務範囲を限定できる正社員として「スマート社員制度」を導入、2017年4月からは「テレワーク制度」もスタートしています。

また、りそな銀行の運用部門では投資家として大学・NGOなどとも連携し、パーム油関連企業に対し、労働者の人権を尊重しながら、ビジネスがこれからも発展していく方法についての対話をしています。

<「女性が輝く先進企業」内閣総理大臣表彰を受賞>

ワークライフバランス実現に向け、仕事と育児の両立支援制度の整備や、女性のキャリア形成に対する意識醸成のための取り組みを行っています。埼玉りそな銀行は、女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取り組み並びにそれらの情報開示に顕著な功績があった企業を表彰する「女性が輝く先進企業表彰」において最高評価の「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。



りそなグループの取り組みは、外部からも評価をいただいています。2018年12月31日現在



プラチナくるみん



PRIDE指標2018ゴールド



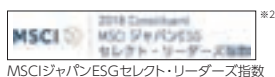
R&I ファンド大賞2018*1
https://www.r-i.co.jp/investment/fund_award/index.html



マーサーMPA (JAPAN)アワード2018
<https://www.mercer.co.jp/newsroom/2018-mpa-awards.html>

GPIFが選定したESG4指数すべてに採用

ESG指数



MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数



MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom Japan Index



S&P/JPXカーボンエフィシエント指数



SNAMサステナビリティ・インデックス
構成銘柄採用

*1 確定給付年金 国内小型株式部門 小型株(集中投資)株式口Z

*2 MSCI ESG index Logo Disclaimer : http://www.resona-gr.co.jp/holdings/outlink/link_032.html